

令和 8 年度 第 1 回学校運営協議会 議事録

静岡県立静岡城北高等学校

【日時】 令和 8 年 6 月 6 日（土）9:00～11:00

【場所】 応接室

【出席者】 委員 6 名、校長、教頭、事務長

1 開会

開会に先立ち、委員に任命状の交付を行った。

2 校長挨拶

校長より、本年度の学校経営方針及び学校運営協議会への協力について挨拶を行った。

3 出席者自己紹介

出席者による自己紹介を行った。

4 学校の概況

教頭より、本年度の学校行事、教育活動の状況等について説明を行った。

5 会長・副会長の選出

委員による協議の結果、会長、副会長を選出した。

6 城北祭見学

委員による城北祭見学を実施した。

7 本年度学校経営計画について

(1) 学校経営計画の説明

校長より、グランドデザイン及び学校経営計画書について説明を行った。

スクール・ミッション及びスクール・ポリシーに基づき、グラデュエーション・ポリシーの実現に向けて、「つながる力」「みつける力」「行動する力」「考える力」「グローバル力」の育成を目指すことを説明した。

具体的な取組として、

- 生徒へのボイスシャワーによる自己肯定感・自己効力感の醸成
- 探究活動を通じた課題発見・課題解決能力の育成

- ICT を活用した学習活動の充実
- 城北スマイルプロジェクトの推進
- グローバル教育及び英語力向上の取組
- 心理的安全性の確保と危機管理体制の充実

等について説明した。

また、校長だよりを毎月発行し、学校ホームページに掲載することで、学校の教育活動や学校経営方針の発信に努めていることを説明した。

(2) 意見交換

学校経営計画を中心に意見交換を行った。

委員からは、学校経営方針の教職員や保護者への周知方法、教員育成の取組、ICT 活用の現状等について質問や意見が出され、学校から説明を行った。

また、学校経営計画の推進に当たっては、社会の変化に対応しながら継続的な改善を図ることの重要性や、学校の目指す方向性を共有しながら教育活動を進めることの大切さについて意見交換を行った。

ICT 活用については、その有効性が認められる一方で、情報モラルや情報リテラシーの育成、家庭との連携の重要性について意見が出された。

さらに、生徒の自己肯定感や主体性の育成、探究活動の充実、グローバル教育の推進など、本校の教育活動の方向性について意見交換を行い、学校の取組に期待する意見が寄せられた。

情報発信については、校長だよりやホームページによる継続的な情報発信を評価する意見があり、今後も学校の教育活動や取組について積極的な発信を期待する意見が出された。

(3) まとめ

委員からいただいた意見や提案を今後の学校運営に生かし、教育活動のさらなる充実に努めていくことを確認した。

8 閉会